

# 奥会津・只見川

復活!

# 霧幻峡の渡し

忘れ去られた風景がここに……。懐かしい、あの感動がよみがえる。

## ◎霧幻峡の渡し

奥会津・霧幻峡。

白く立ちこめる霧の中に、廃村となった集落跡がひっそりとたたずんでいます。…何もない。…誰もいない。

…爽やかな涼風や小川の水音や動植物の穏やかな息吹だけが秘やかに悠久の音を刻んでいます。

300年の伝統と文化と歴史に培われた、作り物でない、本物の田舎暮らしを、日本の原風景の霧幻峡で、体験してみませんか？

昔懐かしの櫓の和舟に乗って…感動の癒しのパワースポットがあなたを待っています。

## 通常営業の案内

- ◎営業期間…4月下旬～11月下旬迄の土日祝日の予約時のみ就航(4名以上)
- ◎霧幻峡の渡しの出航時間…9:00～17:00(11月～16:00)
- ◎乗船料金…片道 大人300円 子供200円  
往復 大人500円 子供300円
- ◎散策ガイド料金(お茶・駄菓子付)…700円(20名以上団体500円)
- ◎霧幻峡の渡しの営業区間…早戸温泉船着場～霧幻峡 片道約15分
- ◎問い合わせ、ご予約…霧幻峡プロジェクト責任者 星 賢孝  
電話0241-52-3111(佐久間建設)  
メール:okuaizu@sam.hi-ho.ne.jp
- ◎注意 河川の状況や、雨風等気象状況により運行が急に中止となる場合があります。

## アクセスの案内

- ◎マイカー 東京方面…  
高速・東北自動車道～郡山JC～坂下・柳津IC～国道252号線経由  
(坂下・坂本ICより25分)
- ◎JR鉄道  
只見線・早戸駅下車 徒歩10分

## ◎只見川

日本の原風景といわれ、日本有数の豪雪地帯を、延々と貫いて流れ下る悠久の大河が只見川です。その源は尾瀬に発し、会津平原で阿賀川に合流し新潟は日本海まで高低差1,165m、長さ272kmを悠然と流れ下っています

# 霧幻峡癒しのパワースポット

早戸温泉の船着場へ昔懐かしい檣棒の和船に乗って霧幻峡に渡ります。霧幻峡は、300年間の歴史を訪ぐながらも、昭和39年に裏山の土砂崩壊で、残念ながら廃村となりました。

その廃村落には、今なお大山祇神社や子安観音。霧幻地藏や古民家。硫黄鉱山等の産業遺産が歴史のままに残されています。

近年、重なる厄災から逃れたこの地藏や神社や観音堂は、守り本尊として、又そこに宿る霊力が、訪れた人の運気を上げ、願い事をかなえる「パワースポット」としても注目を浴びています。

昭和39年4月16日午前6時、三更部落背後の上部山腹(通称ブナ坂)が、大音響と共に崩壊し、一瞬の内に部落を埋め尽くしました。戸数10戸の三更集落は、集団移転を余儀なくされ、各地に分散、集落廃村となりました。それに伴い、集落と対岸の早戸との間を繋ぎ、地区民の暮らしと命を守っていた渡し舟もその役目を終える事になりました。

## 1.霧幻峡の渡し



三更集落では、この渡し舟が対岸に渡る唯一の交通手段であった為、まだ小学校にも上がらない子供連まで、誰でも自ら船頭さんになって舟の操縦をしていました。

専門の船頭さんがいないこの渡しでは、自分で舟を操作しなければ、川を渡ることが出来なかったのです。大雨の日も、大雪の日も、台風の日も、激流に舟を潰さず、速い下流まで流されて大変な苦労をしながらこの川を渡っていました。

## 2.堂岩地内遊びの広場



渡し舟を下船すると豊かな自然に包まれた広場で遊びましょう。

## 3.霧幻地藏



昭和19年に建立された霧幻峡のシンボルのスポット。素朴な地藏に癒されます。

## 4.大山祇神社



約300年前に、集団移転した三更集落誕生と同時に建造した神社。瀟洒な神社を囲む杉の巨木に圧倒されます。昭和39年の三更集落裏山の崩壊でも神社は被災を免れたことから、地域の守り神として絶大な信仰を集めています。

## 5.霧幻峡子安観音



三更集落誕生と同時に建造された観音堂。

子宝と安産と子供の健やかな成長を願う人達が近隣からもたくさんお参りに訪れて、賑わっていたといわれます。



## 6.古民家・霧幻庵と霧幻亭



廃村落に今も現存している古民家。霧幻庵は典型的な雪国仕様の曲り屋。ススで黒光りする太い柱が、300年の偉大な歴史を物語っています。

## 7.滾滾(こんこん)清水



山上湖でカルデラ湖である沼沢湖の浸透水が、深い地下に濾過されて湧き出てきます。流れ清水ではない聖水は、天下の名水として古来より地域住民を潤しています。近年その聖水を求める人々が急増し人気が高まっています。

## 8.雨沼の展望台



廃村となった三更住民の集団移転先である雨沼集落は只見川溪谷の高台に位置し、展望台からは早戸温泉つるの湯と湯の上場崖の壮大な岩壁をつぶさに見ることができます。

## 9.立ての上展望台



慶長16年(1611年)8月21日の会津大地震で、シラス層が大崩壊をおこし大量の土石が只見川をせき止めました。これを「堂岩崩れ」としてその恐ろしさは今に伝えられています。その崩落した堂岩からそそり立つ岩壁が立って、急峻な遊歩道を進むと、その山頂に立つことが出来ます。頂上は山林台地が広がっており、大展望を望むことが出来ます。

## 10.玉造硫黄鉱山跡



昭和28年から採掘が始まった玉造硫黄鉱山は、村に活況を及ぼしたものの、僅か7年で閉鎖となりました。閉山により放置された鉱山採掘穴にやがて水が溜まり、それが昭和39年のブナ坂大崩壊の原因となり、三更集落は廃村の道を辿る事となりました。集落廃村の原因となった玉造硫黄鉱山の精錬場跡や採掘スリ出し鉱口跡が、今も静かにその華麗な歴史を物語っています。